

1 類似する行政サービスについて県市の役割分担等を検討している項目

分野(項目)	取組内容
1 産業振興 (企業支援)	<p>◆ マッピングを踏まえた業務分担の最適化、連携事業を実施</p> <p>○ 創業支援業務の連携強化 創業・ベンチャー支援連絡協議会（県、県創業サポートセンターを含む創業支援機関で構成）のメンバーが実施する創業セミナーの開催予定について、市ホームページへの掲載や、関係機関への情報提供を行った。 また、創業・ベンチャー支援連絡協議会に、海田町、商工会等を構成メンバーとして追加し、本協議会を基に市が策定している広島市創業支援事業計画について、海田町及び商工会等を新たに追加する変更申請が国に認定された。</p> <p>○ 研究開発・製品開発における連携事業の実施 製品開発等の現場を支える人材の育成について、県は指導人材の育成等を行い、市はNPO法人に対して当該県の事業について周知を行った。</p>
2 公営住宅 (公営住宅)	<p>◆ 県営住宅及び市営住宅の申込みの相互受付を実施 県営住宅及び市営住宅の入居者の定期募集において、平成 27 年度から、県の指定管理者窓口と市の 8 区役所の計 9 か所の窓口における相互受付等を実施した。</p> <p>◆ 管理運営の市への一本化の実施方法等を協議 広島市域の県営住宅については、市域内の一元的な公営住宅施策の企画・実施が可能となることから、市に移管する方向で協議、調整を進め、平成 31 年度からの開始を目指すこととした。</p>
3 試験研究 (工業技術)	<p>◆ 県市の工業技術センターの一体的運営具体化のための連携方策を実施</p> <p>○ 窓口ワンストップ化 ・県市の技術・機器情報を一覧できるリストを全職員に配布し、このリストから最適な技術担当者・機器を利用者に紹介した。 ・合同窓口「広島ものづくり技術相談窓口」を西部工業技術センター内に開設し、相談先が分からない場合などに対応した。</p> <p>○ 共通ポータルサイトの開設 ・県市の共通ポータルサイトを開設し、技術別相談先一覧、保有機器・設備一覧、保有技術・研究一覧、各センターの研修等を情報発信した。</p> <p>○ 研究会等の共催 ・同一産業分野で県市が個別に開催してきた研究会・研修会等を役割分担し共同で開催した。 ・企業の関心が高い感性をテーマにものづくり技術交流会を共同開催した。</p> <p>○ 機器・設備の利用 ・双方の職員が、機器を研究で使用する際に、無償で相互利用できる協定を締結した。 ・県市の機器等を効率的に整備するため事前調整を実施した。</p> <p>○ 人事交流 ・平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで広島県・広島市職員を相互に派遣した（各 1 名）。</p>
4 児童福祉 (児童相談)	<p>◆ 県内 4 児童相談所の一体的運営の推進 「県市連携推進担当」セクションにおいて、主に以下に掲げる取組を実施した。</p> <p>○ 児童虐待防止に係る広報・啓発の共同実施 里親制度推進キャンペーンや、児童虐待防止（オレンジリボン）キャンペーンを中心に広報・啓発を県市共同で実施した。</p> <p>○ 県内 4 児童相談所職員その他関係職員に対する研修の相互参加の推進 里親研修会（全体研修会、地区研修会、養育里親研修等）を県市共同で開催した。</p> <p>○ 県内 4 児童相談所の児童相談業務における基本方針の共通化に係る検討 県内 4 児童相談所職員の人材育成及び研修に関する計画の策定に向けた協議調整を行った。</p> <p>○ 県内 4 児童相談所のリソースの活用及び確保に係る検討 会議室及び面談室等の相互利用並びに一時保護所の応急的相互利用について、平成 28 年 4 月から利用できるよう協定を締結した。</p>

分野(項目)	取組内容
5 スポーツ・レクリエーション (公園)	<p>◆ 統一愛称の募集・決定等 募集した統一愛称について、選考委員会で、最優秀賞を「ひろしま遊学の森」に選考・決定し、11 月に披露した。更に、主要な案内標識について、県・市両施設名称と統一愛称を追加した新たな表示に取り替えた（広島市設置分 3 箇所、広島県設置分 5 箇所）。</p> <p>◆ 県緑化センターと市森林公園の共同管理に向けた取組 県緑化センターについて、両施設の指定管理時期を合わせるため、平成 28 年度一年間の管理に係る指定管理者を指定した。平成 28 年度は、平成 29 年度以降共同管理を行う同一の指定管理者を選定するため、平成 28 年 7 月に県・市合同で指定管理者の公募を実施する予定である。</p>

2 事務・権限の検証作業等を通じて県市が連携を図っている項目

項目	取組内容
1 職業訓練(委託訓練)のコース設定に係る県市連携	<p>◆ 地域実情・ニーズを反映した職業訓練(委託訓練)のコースの開講 県立広島高等技術専門学校で実施する職業訓練(委託訓練)において、平成 26 年度に市から提案した、総合オペレーション科、パソコン&コールセンター科及びコーディネート接客販売科を開講した。 また、平成 28 年度の職業訓練(委託訓練)について、市から新規及び継続提案を行った。</p>
2 非行防止対策強化のための県市連携	<p>◆ 少年サポートセンターひろしまの設置・運営 平成 27 年 4 月に少年サポートセンターひろしまを市庁舎内に開設し、少年相談、居場所づくり、立ち直り支援等について、県警察と市教育委員会が連携して行った。 また、県市の教育委員会、警察、児童相談所、中学校長会・有識者等で構成する少年サポートセンターひろしま連絡調整会議を設置し、ワーキンググループ会議等を開催した。</p>
3 美しい川づくりを実現するための県市連携	<p>◆ 美しい川づくりに係る集中的な取組等の実施 「美しい川づくり」将来ビジョンに基づき、現在、駅前大橋から猿猴橋までの区間において「集中的な取組」を進めている。 既に、平成 27 年度末までに、県においては、河川環境の改善を図るため、駅前大橋～猿猴橋間の有機泥の浚渫工事を行うとともに、水上交通の乗降場として活用するため、Bブロック前の老朽化した雁木の再整備を行い、市においては、被爆 70 周年記念事業として猿猴橋の復元工事を完了した。 そして、平成 28 年度、本市が実施するBブロック再開発ビル前の河岸緑地の整備をもって、「集中的な取組」を完了する予定である。</p>
4 外国人観光客の受入環境の充実・強化に係る県市連携	<p>◆ 「Hiroshima Free Wi-Fi プロジェクト」への協力 プロジェクトの推進にあたって、市内原爆ドーム周辺や県内市町（廿日市市、東広島市、江田島市等）へのフリーWi-Fi 整備の他、平成 26 年度に引き続き、利用促進に向けたプロモーション（広島空港フライトインフォメーション、JR 広島駅マルチビジョン）に対し、県の支援を受けて実施した。 また、県域でのフリーWi-Fi エリア拡大に伴い、広域での受入環境充実を図るため、平成 28 年度から行う広域周遊を促進するための観光情報の配信や、広域での周遊実態の把握のための動線分析等、県市一体で進める取組内容について調整を行った。</p>